



Cisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツール

- [2 ページの「パーソナル着信転送ルール Web ツールについて」](#)
- [3 ページの「パーソナル着信転送ルール Web ツールへのアクセス」](#)

パーソナル着信転送ルール Web ツールについて

Cisco Unity Connection では、Cisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツールで設定したルールに従って、着信コールを転送またはスクリーニングすることができます。

Connection は、パーソナル着信転送ルールを使用して、特定の着信コールを発信者の識別情報、時刻、および会議スケジュールに従って転送したり、着信コールをボイスメールまたは別の電話番号に転送することができます。着信コールを単一の電話番号、一連の電話番号、または電子メールベースのポケットベル アドレスに転送するルールまたは SMS メッセージを SMS デバイスに送信するルールを設定することができます。さらに、着信の一部または全部をスクリーニングするルールを設定することもできます。

単一の電話番号からの着信コールをボイスメールに転送するというような、ごく単純なパーソナル着信転送ルールを作成することや、次のコンポーネントを使用して、より複雑なルールを作成することができます。

個人連絡先リスト	<p>Connection は、個人連絡先リストを使用して、着信コールの転送や、ボイスコマンド使用時のコール発信を行います</p>  <p>(注) 個人連絡先リストは Cisco Unity Assistant Web ツールで管理します。</p>
発信者グループ	<p>発信者をグループにまとめて、1 つのルールを複数の発信者に適用することができます。そのため、ルールを何回も作成し直す必要はありません。発信者グループには、他の Connection ユーザ、システム連絡先、および個人連絡先を含めることができます。</p>
個人通知先	<p>Connection で着信コールを転送できる連絡先電話番号のディレクトリを作成できます（この通知先は通知デバイスに付加されます）。</p>
通知先グループ	<p>個人通知先と通知デバイスをグループにまとめることで、Connection が着信コールを各通知先にリストの順序で転送するようになります。この動作は、応答があるまで、発信者が電話を切るまで、またはグループの最後の通知先に達するまで続けられます。グループ内の通知先の順序や、各通知先の応答があるまで Connection が待機する時間を指定できます。</p>

ルールは、作成後に電話またはパーソナル着信転送ルール Web ツールを使用して有効にします。

パーソナル着信転送ルール Web ツールへのアクセス

この項では、2つの手順を示しています。

- 3 ページの「パーソナル着信転送ルール Web ツールにアクセスするには」
- 3 ページの「パーソナル着信転送ルール Web ツールのヘルプにアクセスするには」

パーソナル着信転送ルール Web ツールにアクセスするには

- ステップ 1** <http://<Cisco Unity Connection サーバ名 >/ciscopca> にある Cisco PCA のログオン ページに移動します (URL は大文字と小文字が区別されます)。



ワンポイント・アドバイス

Cisco PCA の URL をブックマークすると、パーソナル着信転送ルール Web ツールにアクセスするたびに Web アドレスを入力する必要がなくなります。

- ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 3** Cisco PCA のパスワードを忘れた場合は、Connection 管理者に問い合せてください。
- ステップ 4** [ログイン] をクリックします。
- ステップ 5** Cisco PCA のホーム ページで、[パーソナル着信転送ルール] リンクをクリックします。
- ステップ 6** 作業終了後、パーソナル着信転送ルール ページの右上隅にある [ログアウト] をクリックします。

パーソナル着信転送ルール Web ツールのヘルプにアクセスするには

- ステップ 1** 任意の パーソナル着信転送ルール ページで、[ヘルプ] メニューをクリックします。
- ステップ 2** [ヘルプ] メニューから、次の適切なリンクをクリックします。

コンテンツ	ヘルプのトピックがリスト表示されます。
インデックス	ヘルプのインデックスが表示されます。
ページ上	表示するページに対応したヘルプ トピックが表示されます。

アイコンのヘルプが必要な場合は、マウスのポインタをアイコンの上に置いてツールチップを表示させます。

